

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年1月分)

2021年2月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH中央選管、モスタル市議会選挙の最終結果を確定\(3、19日\)](#)

●[BH中央選管、スレブレニツァ市などの地方選挙結果を一部無効化\(21、27日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[サラエボ市郊外で移民・難民が一部暴徒化\(20日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[「RSの日」の祝賀関連行事の開催\(9日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[ドイツ政府、次期上級代表候補の擁立を正式決定\(20日\)](#)

●[BH国民の75%がEU加盟を支持\(29日\)](#)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

●[伊藤駐BH日本大使のBH政府要人等への着任表敬\(4、5、13、20、27日\)](#)

●[伊藤駐BH日本大使のインタビュー記事の掲載\(27日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(BH統計庁) [↓](#)

(2) 経済政策・公共事業

●[2020年、BHからEU各国への就労目的の移住は減少\(13日\)](#)

(3) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●[EU、移民・難民問題をめぐりBHに資金援助の実施を決定\(3日\)](#)

(4) 民間セクター

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BHへの新型コロナワクチン輸送本格化は2月中旬の見通し(30日)

BH民生省は、新型コロナワクチンの調達日程につき、WHOなどが主導する各国共同のワクチン調達メカニズムであるCOVAXを通じたBHへのワクチン輸送の本格化は2月中旬以降になるとの見通しを発表。同省によれば、2月末までに英米製のワクチンを中心に最大約28万回分のワクチン調達が見込まれている。(注：一方で2月1日、スルプスカ共和国(RS)保健省は、同エンティティが独自に調達した露製ワクチン2,000回分がRSに到着した旨を発表した。)

●BH中央選管、モスタル市議会選挙の最終結果を確定(3、19日)

BH中央選挙管理委員会(CEC)は、昨年12月20日に実施されたモスタル市議会選挙の最終結果を3日に発表し、19日に確定した。議会35議席中の最多はHDZ(クロアチア系与党)の13議席で、次いでSDA(ボシュニャク系与党第一党)などによる「モスタルのための連合」が11議席、中道左派のBHブロックが6議席、クロアチア共和主義者党が3議席などとなっている。今後、市長選出に必要な議会議席3分の2の確保に向け、連立交渉が加速化する見通し。

●BH中央選管、スレブレニツァ市などの地方選挙結果を一部無効化(21、27日)

21日、BH中央選管(CEC)は、昨年11月15日に実施された統一地方選挙をめぐり、スレブレニツァ市およびドボイ市(共にRS)の市長・市議会選挙で多数の不正が確認されたと

して、両市における選挙結果の一部を無効化する旨決定、27日、BH裁判所がSNSD(セルビア系与党第一党)などによる不服申立てを棄却したことで同決定は確定した。(注：2月2日、CECは両市選挙のやり直し投票を2月21日に実施する方針を発表した。)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●野党「4党連合」によるサラエボ・カントン新政権の発足(5日)

サラエボ・カントン議会は、昨年末の同議会による不信任決議以降、暫定権限で活動を続けていたSDA主導の旧政権にかわり、新たに「我々の党」(NS)および「人民と正義」(NiP)などのいわゆる野党「4党連合」による新政権の発足を承認。2018年の国政選挙後にも一時カントン政権を担った「4党連合」は、今回約1年ぶりに同カントン政権への復帰を果たした形となった。

●サラエボ市郊外で移民・難民が一部暴徒化(20日)

サラエボ市中心部から西方へ約15キロのイリジャ区ブラジュイにある移民・難民収容施設において、移民・難民間の喧嘩への警察の介入をきっかけに、一部の移民・難民が暴動化。この騒動により、警察官2名およびIOM職員1名が負傷したほか、警察車両20台が損壊した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●「RSの日」の祝賀関連行事の開催(9日)

RS域内各都市において「スルプスカ共和国の日」の祝賀関連行事が開催された。新型コロナウイルス問題の影響もあり、例年パニ

ヤ・ルカ市で行われるRS警察部隊による市内行進などの行事開催は見送られた一方で、RS政府は新型コロナウイルス問題対応への貢献に対する表彰として、RS域内の医療関係者への勲章授与を実施。なお、BH憲法裁判所は「RSの日」を違憲とする判決を2019年3月に下しており、インツコ上級代表は本年の祝賀行事開催を憂慮する旨表明している。

●ドディック大統領評議会議長のセルビア訪問(27日)

ドディック大統領評議会議長(元首、セルビア系)がセルビアを訪問し、プチッチ同国大統領らとともにベオグラード市内で行われたステファン・ネマニャ王(中世のセルビア王国ネマニッチ朝の創始者で、その末子にセルビア正教会の聖人サバがいる。)の銅像の除幕式に参列。また、その後プチッチ大統領と会談を行い、BH国内における新型コロナワクチンの接種に向けた両国の協力方針などにつき話し合った。

●RS主要3野党、2022年の国政選挙に向けた政党間協力で合意(29日)

RS野党のセルビア民主党(SDS)、民主進歩党(PDP)、民主人民同盟(DNS、与党SNSDとの連立を昨年末に解消)の各党首が会談を実施、RS政権与党のSNSDとの対決姿勢を確認するとともに、2022年に予定されている国政選挙に向け、今後、政党間協力を深めていく方針で合意した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ドイツ政府、次期上級代表候補の擁立を正

式決定(20日)

ドイツ政府は、シュミット同国連邦議会議員(同国前農業・食糧大臣)をインツコ上級代表の後任候補とすることを正式に決定。この決定に対するBH国内要人の反応は様々。イゼトベゴビッチSDA党首はドイツ政府の決定を歓迎するとともに上級代表のより強力な内政関与を期待。一方でドディック大統領評議会議長(SNSD党首)は、上級代表との一切の協力を拒否する方針を示すとともに、早期のOHR閉鎖を重ねて要求。チョービッチHDZ党首は、次期上級代表が早期のOHR閉鎖に向け取り組むことを期待する旨を述べた。

●BH国民の75%がEU加盟を支持(29日)

BH閣僚評議会(中央政府)の直属機関である欧州統合局は、同局が昨年10月に実施したBHのEU加盟プロセスに関する世論調査結果を発表。それによれば、EU加盟を支持するとした回答者はBH全体で75%(不支持12%)に上り、エンティティ別ではBH連邦では87%(同5%)、RSでは55%(同25%)であった。主な賛成理由には、EU加盟による国内和平の維持および政治的安定化を挙げる回答が多数(33%)に上った。

(2) 二国間関係

●ギリシャ外相のBH訪問(29日)

大統領評議会3メンバー、テゲルティヤBH閣僚評議会議長(国レベルの首相)、トゥルコビッチBH副首相兼外相が、BHを訪問中のデンディアス・ギリシャ外相との間でそれぞれ会談を実施。各会談では、BHのEU加盟プロセス、BH国内で悪化する移民・難民問題、および新型コロナワクチンの調達問題などにつき話し合った。

(3) 日・BH関係

●伊藤駐BH日本大使のBH政府要人等への着任表敬(4、5、13、20、27日)

伊藤駐BH日本大使は、トウルコビッチ副首相兼外相(4日)、ジャフェロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバー(5日)、ブルキッチ副外相(13日)、グデリエビッチ民生相(20日)、シュクリエリ・サラエボ大学学長(27日)にそれぞれ着任表敬を実施。各会談では、日本とBHの外交関係開設25周年を含む二国間関係や様々な分野における両国の協力深化に向け話し合い、BH側の各大臣からは長年に渡る日本の開発協力に対し謝意が表明された。



(写真:伊藤大使とトウルコビッチ外務大臣)



(写真:伊藤大使とグデリエビッチ民生大臣)

●伊藤駐BH日本大使のインタビュー記事の掲載(27日)

BHの主要全国紙である「オスロボジェーニェ」に、伊藤駐BH日本大使のインタビュー記事が掲載された(下線部リンクから記事全体を閲覧可能)。

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP成長率

2020年第3四半期の国内GDP成長率は、前年同期比で6.3%のマイナス。

●貿易収支

2020年の輸出総額は前年比で8.5%マイナスの105億1,500万KM(約53億7,600万ユーロ)、輸入額は前年比で13.4%マイナスの168億8,600万KM(約86億3,400万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は約63億7,100万KM(約32億5,700万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下のとおり。

BHからの輸出	BHへの輸入
① ドイツ	① ドイツ
② クロアチア	② イタリア
③ セルビア	③ セルビア
④ イタリア	④ クロアチア
⑤ オーストリア	⑤ 中国

●雇用／失業率

2020年11月の失業登録者数は41万3,254人。2018年を100とした場合の前年同期(19年11月)比で2.7%、実数にして1万1,895人の増加。

●平均給与

2020年11月の平均給与(手取り)は966 KM(約494ユーロ)で、前年同期比で1.6%のプラス。

●消費者物価指数

2020年12月の消費者物価指数は前月比で0.2%のマイナス。

●観光客数

2020年12月にBHを訪れた観光客数は3万9,585人で、前年同期比で58.9%のマイナス。

(2) 経済政策・公共事業

●2020年、BHからEU各国への就労目的の移住は減少(13日)

新型コロナウイルス問題に伴うEU加盟各国の入国制限を背景に、2020年に就労目的でBHを離れEU各国に移住した労働者数は大きく減少。BH労働・雇用庁によると、同庁がBH国民を対象に就労仲介を行った件数は、移住先としてはスロベニアで半減のほか、ドイツでは25%減となった。なお、昨年を除けば主に就労を目的としたBHからEU各国などへの移住件数は毎年増加傾向にあり、2013～19年までの7年間で約53万人がBH国外に移住したとされる。

(3) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●UN、SDGs達成に向けBHに資金援助を実施の方針(2日)

BH政府と当地UNは、2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けたBH

の取組加速化に向け、UNがBH政府に対して130万米ドルの資金援助を行うとする合意文書に署名した。

●EU、移民・難民問題をめぐりBHに追加の資金援助実施を発表(3日)

欧州委員会は、BHで悪化する移民・難民問題をめぐり、移民・難民の滞在環境整備を目的として、BH政府に350万ユーロの追加的な資金援助を行う方針を発表。2018年以降、EUは移民・難民問題をめぐり累次にわたりBHに対して資金援助を行っており、今回の支援を含めると累計総額は1,380万ユーロとなる。

●EU、BH国内の各病院に多数のマスクを供与(22日)

EUは、対BH新型コロナ対策支援の一環として、ブルチュコ特別区やゴラジュデ市(BH東部)の各病院に約25万個の高機能マスクを供与した。

(4) 民間セクター

●2020年、サラエボ国際空港の利用者数は過去20年で最低を記録(8日)

新型コロナ問題による国際旅客便の運航数削減などを背景に、2020年のサラエボ国際空港の利用者数は、過去最多を記録した前年(約114万人)から78%落ち込み、約25万人となった。なお、この数字は2001年の32万人も下回り、2000年代に入って以降の過去20年間で最小。